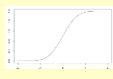


IDCJ 評価部主催
第 15 回 Stata によるデータ分析の演習

<https://www.idcj.jp/seminar/statastatistical-analysis-workshop-stata-application.html>

- 【開催日時】 2026 年 9 月 11 日（金）13:00-16:30
- 【所要時間/方法】 3.5 時間（さらに自由参加の応用編あり 16:30-17:30）、Zoom で実施
- 【主催】 国際開発センター (IDCJ) 評価部
- 【使用言語】 日本語（英語で実施する回もあります）
- 【方法】 Stata19 ショートコース版を事前にインストールしていただきます。これは Stata19 そのものですが、30 日間の期間限定版です。申込受付完了後に、事前にダウンロード先とパスワードをお送り致します。
- 【テキスト】 PDF (パスワード付き) をお送りしますので、印刷してお手元にご準備ください。【使用する OS】 Windows あるいは Mac どちらのパソコンでも結構です。
- 【参加条件】 「プロフェッショナル統計分析ワークショップ」を修了された方。もしくは同等の知識を有する方。
- 【募集人数】 30 名（最小開催人数 10 名）
- 【申込期日】 2026 年 9 月 4 日（金）17 時
- 【受講料】 11,000 円 (税込) 開催決定後にご連絡する Peatix のサイトでお支払いください。
- 【申込方法】 [申込フォーム](#)からお申込みください。
- 【講師】 佐々木亮・ウェスタンミシガン大学評価学博士（国際開発センター (IDCJ)）
- 【連絡先】 sasaki.ryo(a)idcj.or.jp （メールを出す場合は (a) を @ に変えてください）
- 【時間割】 以下の通り計画しています。時間は目安です。

日時		内容	講師
13:00-15:00		Stata の立ち上げと Log 記録の開始 & 終了	佐々木亮
		ヒストグラム、平均、分散、標準偏差	佐々木亮
		対応のある t 検定 (事前-事後の t 検定 (平均値差検定))	佐々木亮
		独立の t 検定 (2 群の t 検定 (介入群・比較群の平均値差検定))	佐々木亮
		回帰分析	佐々木亮
		Do-File の作成と利用	佐々木亮
15:00-15:30		プロビット回帰分析 (「はい」「いいえ」の回帰分析)	佐々木亮
15:30-16:30		Stata の国際協力分野の適用事例と演習 (3 題) ・スーダン井戸給水 (事前-事後の t 検定) ・ヨルダン平和構築 (2 群の t 検定) ・ミャンマー教育 (重回帰分析)	佐々木亮
16:30-17:30 (希望者のみ)		構造方程式モデリング (潜在変数の導入) (時間の都合により自習となる場合があります)	佐々木亮